

警告きつつき 設定 PC アプリ 取扱説明書

第 2.0 版 2023 年 11 月



変更履歴

版数	発行日付	作成者	変更内容
第 1.0 版	2022/02	木原	・ 初版
第 1.1 版	2022/03	木原	・ 4-1-1 章通信設定 COM ポート選択において、接続/選択方法の参照章 (5-1,5-2)を追記
第 2.0 版	2023/11	木原	・ 画面の UI 変更、追加に伴い取扱説明書の全体的な 修正を実施 ・ 「Microsoft Defender SmartScreen 発生時の操作手 順」を「1.お使いになる前に」に変更し、1 章へ追 加 ・ 「3.インストール」に複数台接続した場合の説明を 追加 ・ 「4.画面説明」の項目を以下に変更 - 4-1.起動画面 - 4-2.親機設定 - 4-3.子機設定 ・ 「5.操作説明」の項目を以下に変更 - 5-1.はじめに - 5-2.親機／子機 アップデート - 5-3.データ書き込み／読み出し

■商標について

- ・ 本書内の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

■ご注意

- ・ この取扱説明書の著作権は、すべて ITbook テクノロジー株式会社に帰属します。
- ・ この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転用することを禁じます。
- ・ この取扱説明書および本書内で表現する機器の仕様、外観について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ この取扱説明書に記載の装置外観は見かけ上、実物と多少異なる場合があります。

目次

目次	1
1. お使いになる前に	2
1-1. Microsoft Defender SmartScreen 発生時の操作手順	2
1-2. 警告きつつき「親機」「子機」との接続	3
2. 動作環境	4
3. インストール	4
4. 画面説明	5
4-1. 起動画面	5
4-1-1. ①メニューバー	5
4-1-2. ②通信設定	5
4-1-3. ③親機／子機 アプリケーションバージョン情報	5
4-2. 親機設定	6
4-2-1. ①接点入力設定	6
4-2-2. ②接点出力設定	6
4-2-3. ③状態確認用設定	6
4-2-4. ④設定項目読み出し／書き込み	6
4-2-5. デフォルト値／設定値	7
4-3. 子機設定	8
4-3-1. ①無線通信設定	8
4-3-2. ②転倒／滑落検知設定項目（衝撃）	8
4-3-3. ③転倒／滑落検知設定項目（落下）	8
4-3-4. ④転倒／滑落検知設定項目（停止）	8
4-3-5. ⑤転倒／滑落検知設定項目（傾き）	9
4-3-6. デフォルト値／設定値	9
5. 操作説明	10
5-1. はじめに	10
5-2. 親機／子機 アップデート	11
5-2-1. 実行手順	11
5-2-2. 注意点	14
5-3. データ書き込み／読み出し	16
5-3-1. 親機の場合	17
5-3-2. 子機の場合	19
6. こんなときには	20

1. お使いになる前に

1 - 1 . Microsoft Defender SmartScreen 発生時の操作手順

設定 PC アプリをダウンロード後、「警告きつつき設定 PC アプリ.exe」を実行すると、以下のメッセージが表示される事があります。

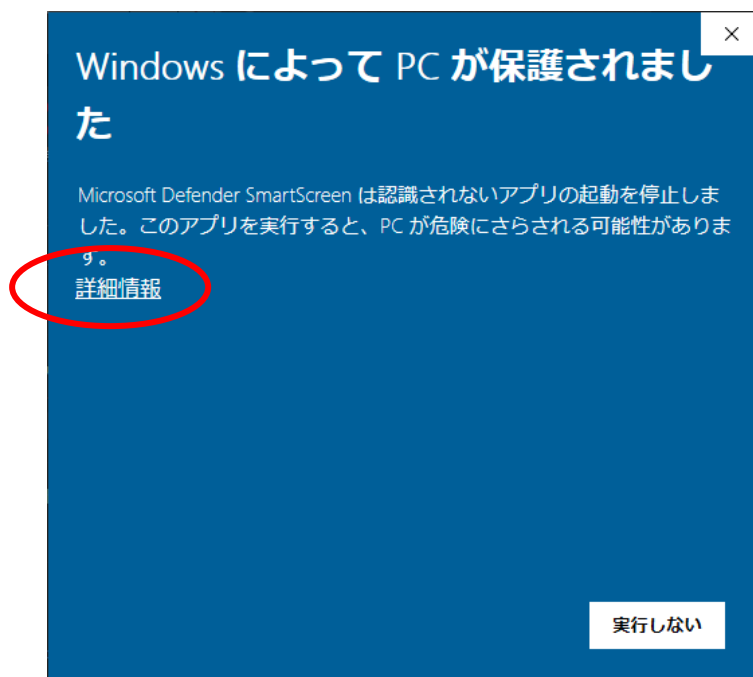


図 1.1 Windows 保護画面

赤丸で囲った「詳細情報」をクリックすると「実行」のボタンが表示されますので、こちらを押下してください。押下後、設定 PC アプリの画面が表示されます。

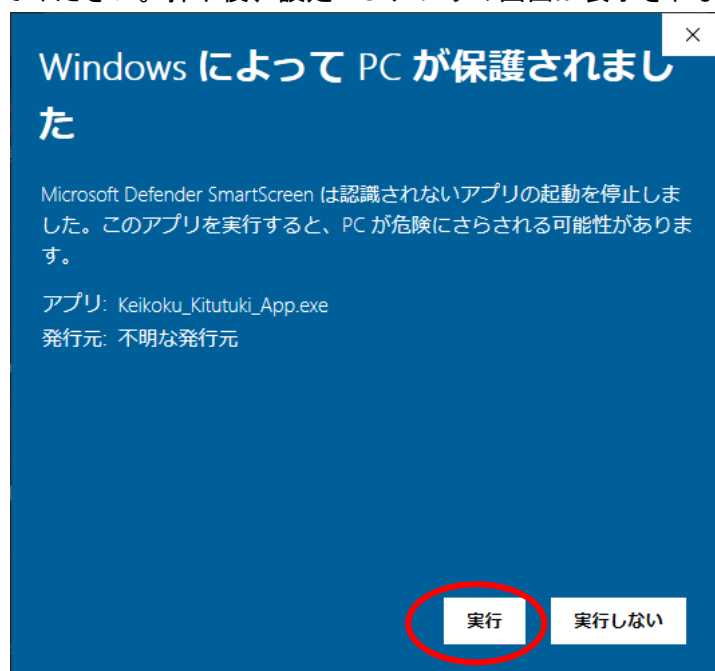


図 1.2 実行ボタン表示後の Windows 保護画面

1-2. 警告きつつき「親機」「子機」との接続

警告きつつき「親機」、及び「子機」とお使いのPCを付属USBケーブルで接続してください。
接続後、COMポートが選択できるようになります。

初回接続時は、以下のような画面が表示され、ドライバーのインストールが行われます。

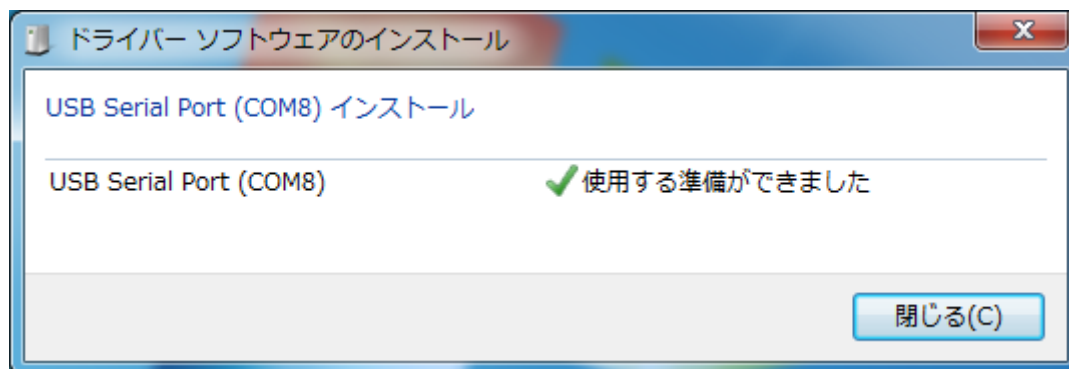


図 1.3 ドライバーインストール画面

デスクトップ画面より左下にある Windows マークを右クリックし、
「デバイスマネージャ(M)」を選択します。
デバイスマネージャに以下の項目が追加されていれば、正常に接続されています。

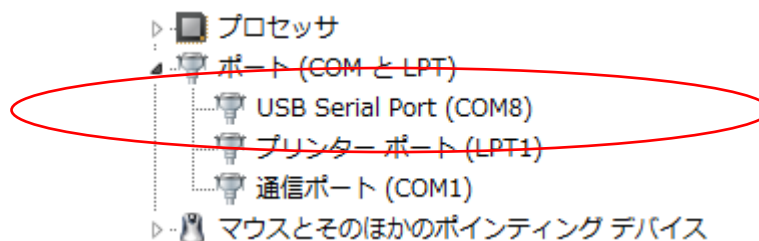


図 5.4 ドライバーインストール後のデバイスマネージャ画面

※COM 番号（上記例では COM8）は設定時に使用しますので、メモしておいてください。

2. 動作環境

警告きつつき設定 PC アプリは、警告きつつき「子機」(SenSu-A000)と「親機」(SenSu-A100)の設定を変更するためのツールです。

対応 OS : Windows 8 32bit / 64bit
 Windows 8.1 32bit / 64bit
 Windows 10 64bit
 Windows 11 64bit
※.NET Framework 4.0 以上が必要です。

3. インストール

任意のフォルダに以下を格納してください。

- ・ 警告きつつき設定 PC アプリ.exe
- ・ 警告きつつき_設定 PC アプリ_取扱説明書.pdf
- ・ update フォルダ

※1つのPCで警告きつつきを複数接続する場合は、接続数分フォルダを作成し、それぞれのフォルダに上記ファイル／フォルダをコピーして起動してください。
例えばPCに親機1台、子機5台が接続されている状態でそれぞれ個別に設定する場合は、5つのフォルダを新規作成し、上記3つのファイル、及びフォルダをコピーします。
その後、コピー元のフォルダを含めた「警告きつつき設定 PC アプリ.exe」を6つ起動してください。

※「警告きつつき設定 PC アプリ.exe」と「update」は必ず同一フォルダ下に置いてください。

※アンインストールをする場合は、上記ファイルを削除してください。

4. 画面説明

4-1. 起動画面



図 4.1 起動画面

4-1-1. ①メニューバー

アップデート：「親機」、及び「子機」のアップデート時に使用します。

設定：「親機」及び「子機」の動作設定を表示します。

ヘルプ：設定 PC アプリに関するバージョン情報を表示します。

4-1-2. ②通信設定

COM ポート選択：「3-2. 警告きつつき「親機」「子機」との接続」でメモしておいた COM ポートを選択します。

「接続」ボタン：接続先の「親機」又は「子機」と接続します。

「接続機器の状態」：「親機」又は「子機」との接続状態を表示します。

接続状態は以下よりご確認ください

<表示>	<状態>
	設定 PC アプリ起動直後や、「親機」又は「子機」と接続していない状態です。
	「親機」又は「子機」と接続できている状態です。設定項目の読み出し、書き込みが出来ます。
	「親機」又は「子機」との接続で問題が発生した場合の状態です。

4-1-3. ③親機／子機 アプリケーションバージョン情報

接続する「親機」「子機」のアプリケーションバージョンを表示します。

「読み出し」ボタンを押下後、動作設定と同時に取得し、

「親機」の場合は「親機アプリケーションバージョン」、「子機」の場合は「子機アプリケーションバージョン」が表示されます。

4-2. 親機設定



図 4.2 警告きつつき 【親機設定】画面

4-2-1. ①接点入力設定

接点入力機能種別：接続する接点装置の機能を CH 毎に設定します。

接点入力種別：接続する接点装置の接点極性を CH 毎に設定します。

4-2-2. ②接点出力設定

接点出力機能種別：接続する接点装置の機能を CH 毎に設定します。

接点出力種別：接続する接点装置の接点極性を CH 毎に設定します。

4-2-3. ③状態確認用設定

通信断続ブザーアラート有無：

子機との接続ができない場合のアラームパターンを設定します。

連続接続断続時間：連続接続断続時間を設定します。

4-2-4. ④設定項目読み出し／書き込み

「読み出し」ボタン：機器から設定項目を読み出し、設定 PC アプリに表示します。

「書き込み」ボタン：設定した項目を機器に書き込みます。

4-2-5. デフォルト値／設定値

親機設定のデフォルト値、及び設定値は下表の通りです。

設定項目	デフォルト値	設定値
接点入力機能種別 (CH1)	子機一斉呼出	使用しない 子機一斉呼出
接点入力種別 (CH1)	b 接点(N.C.)	b 接点(N.C.) a 接点(N.O.)
接点入力機能種別 (CH2)	使用しない	使用しない 子機一斉呼出
接点入力種別 (CH2)	b 接点(N.C.)	b 接点(N.C.) a 接点(N.O.)
接点出力機能種別 (CH1)	SOS 受信警告	使用しない SOS 受信警告 接続断続時間オーバー警告
接点出力種別 (CH1)	b 接点(N.C.)	b 接点(N.C.) a 接点(N.O.)
接点出力機能種別 (CH2)	接続断続時間オーバー警告	使用しない SOS 受信警告 接続断続時間オーバー警告
接点出力種別 (CH2)	b 接点(N.C.)	b 接点(N.C.) a 接点(N.O.)
通信断続ブザーアラート有無	LED+ブザー有効	使用しない LED+ブザー有効
連続接続断続時間	600 秒	0 秒 ~ 3600 秒

表 4.1 親機 デフォルト値／設定値一覧

4-3. 子機設定



図 4.3 警告きつつき 【子機設定】画面

4-3-1. ①無線通信設定

SOS 受信時呼び出し方式: SOS 伝搬を受信した際に SOS 発信元子機番号の通知方式を設定します。

4-3-2. ②転倒／滑落検知設定項目（衝撃）

合成加速度しきい値: 合成加速度がこの値を超えたら SOS 要求を発報する。

加速度しきい値 (X 軸): 加速度センサー(X 軸)が値を超えたら SOS 要求を発報します。

加速度しきい値 (Y 軸): 加速度センサー(Y 軸)が値を超えたら SOS 要求を発報します。

加速度しきい値 (Z 軸): 加速度センサー(Z 軸)が値を超えたら SOS 要求を発報します。

4-3-3. ③転倒／滑落検知設定項目（落下）

自由落下検知時間: 自由落下時、設定時間を超えたら SOS 要求を発報します。

斜面落下検知時間: 斜面落下時、設定時間を超えたら SOS 要求を発報します。

4-3-4. ④転倒／滑落検知設定項目（停止）

動作停止検知時間: 動作停止時、設定時間を超えたら SOS 要求を発報します。

4-3-5. ⑤転倒／滑落検知設定項目（傾き）

傾き検知時間：傾きが過渡状態時、設定時間を超えたら SOS 要求を発報します。

角度変化しきい値：

3 軸のいずれかの角度変化がしきい値を超えた時場合、「傾き検知過渡状態」と判断します。

4-3-6. デフォルト値／設定値

子機設定のデフォルト値、及び設定値は以下表の通りです。

設定項目	デフォルト値	設定値
SOS 受信時呼出方式	子機番号分コール	子機番号分コール モールス信号
合成加速度しきい値	16G	判断しない 2G ～ 24G (2G 単位)
加速度しきい値(X 軸)	4G	判断しない 2G ～ 8G (2G 単位)
加速度しきい値(Y 軸)	4G	判断しない 2G ～ 8G (2G 単位)
加速度しきい値(Z 軸)	4G	判断しない 2G ～ 8G (2G 単位)
加速度発生条件	AND	AND OR
自由落下検知時間	判断しない	判断しない 0.1 秒 ～ 2.0 秒 (0.1 秒単位)
斜面落下検知時間	判断しない	判断しない 0.1 秒 ～ 2.0 秒 (0.1 秒単位)
動作停止検知時間	180 秒	判断しない 10 秒～60 秒 (10 秒単位) 60 秒～600 秒 (60 秒単位)
傾き検知時間	1.0 秒	0.0 秒 ～ 5.0 秒 (0.1 秒単位)
角度変化しきい値	250°	0° ～900° (5° 単位)

表 4.2 子機 デフォルト値／設定値一覧

5. 操作説明

5-1. はじめに

設定 PC アプリを起動後、通信（COM ポート）設定をします。

以下赤丸を押下し、選択する COM ポートは” 3-2.警告きつつき「親機」「子機」との接続” で表示された COM ポートを選択してください。

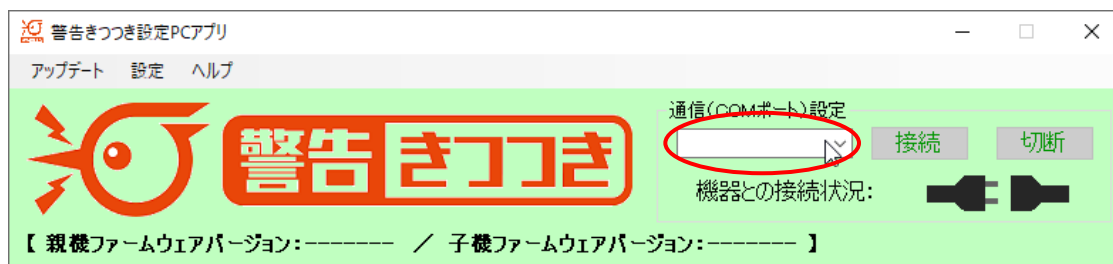


図 5.1 設定 PC アプリ起動直後の画面

COM ポート選択後、「接続」ボタンを押下する事で機器と接続している状態になります。この状態になってから設定を行ってください。



図 5.2 機器と接続した状態の画面

5-2. 親機／子機 アップデート

5-2-1. 実行手順

「親機」「子機」のアプリケーションをアップデートする場合、
「アップデート」メニューから“「UsbfUpdater」起動”を押下してください。

その際、「この不明な発行元からのアプリがデバイス変更を加える事を許可しますか？」の
メッセージが表示されますので、「はい」を押下してください。



図 5.3 USB Function Firmware Updater を起動する画面

「USB Function Firmware Updater」を起動すると、以下の画面が表示されます。

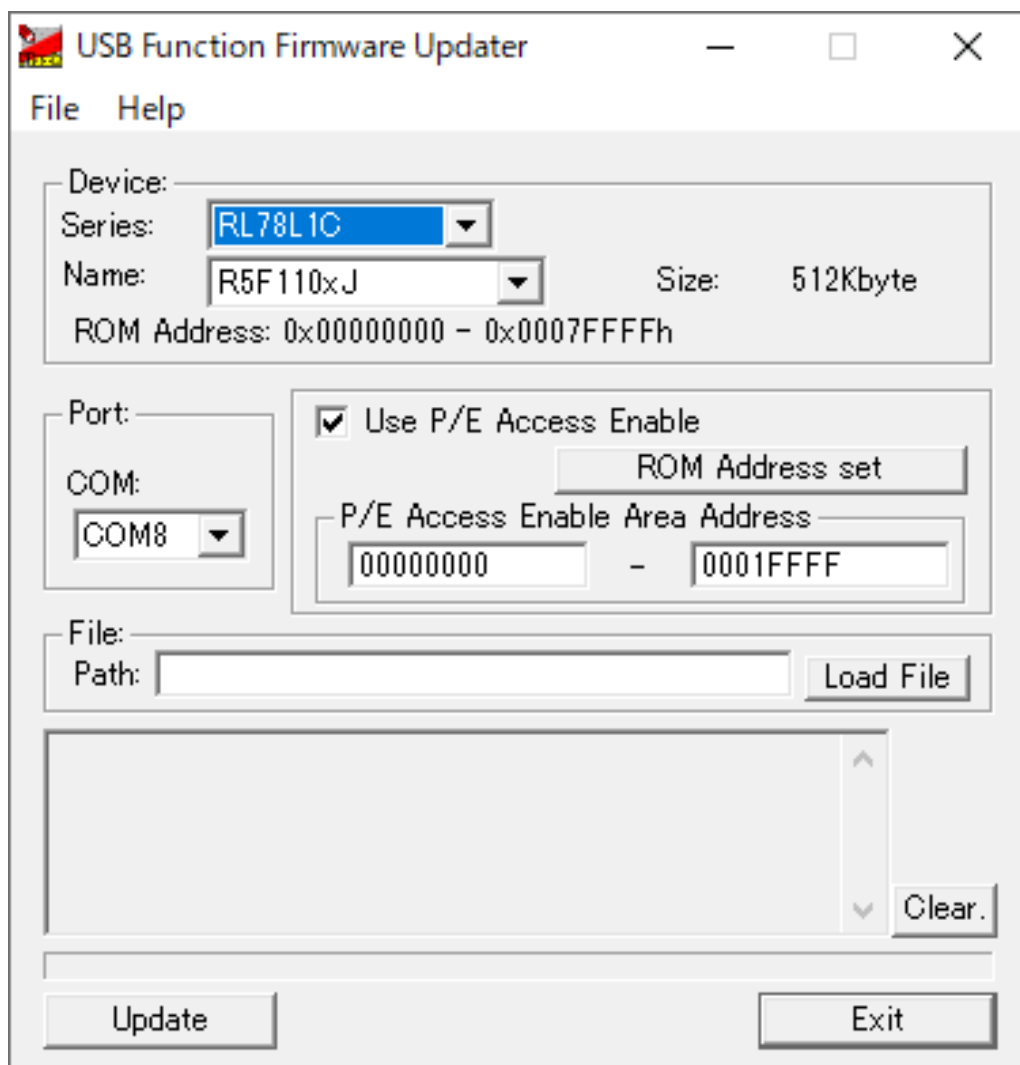


図 5.4 USB Function Firmware Updater 起動画面

「親機」、「子機」のアプリケーションをアップデート手順は以下の順番通りに実行してください。

- (1) 「COM」の項目には、「3-2.警告きつつき「親機」「子機」との接続」で表示された COM ポートを選択してください。
- (2) 「Load File」ボタンを押下し、アップデート用ファイルを選択します。
親機、子機をアップデートする際のファイル名は以下を選択してください。
 - ・ 親機の場合 : SenSu-A100.mot
 - ・ 子機の場合 : SenSu-A000.mot
- (3) 「Update」ボタンを押下すると、アップデートが開始します。

- (4) 「Start upload file. 」のメッセージ表示後、画面下部にあるバーが 100%になるまで待機します。
- (5) バーが 100%になると、「Success. 」のメッセージとアップデートに掛かった時間が表示されます。

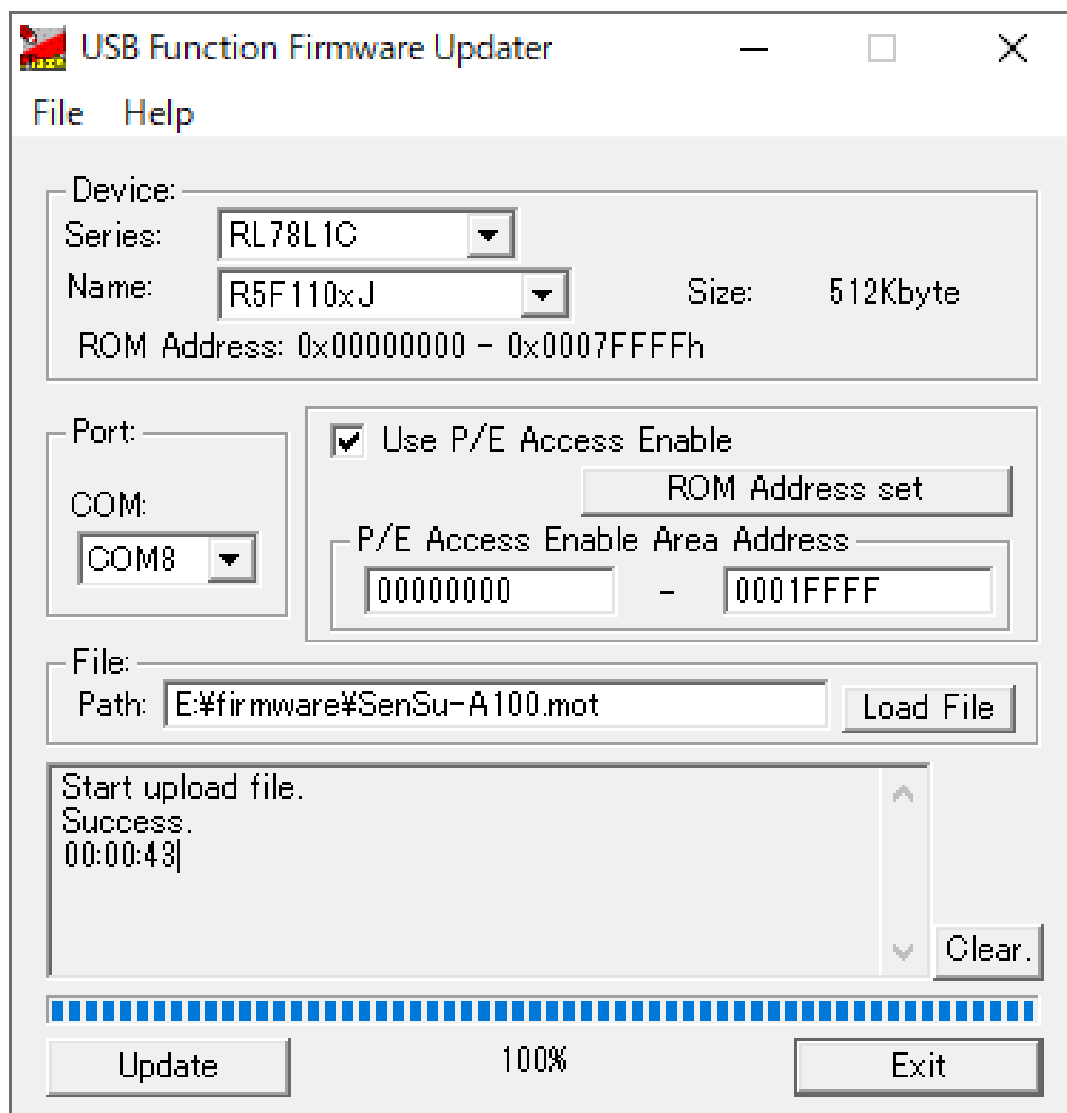


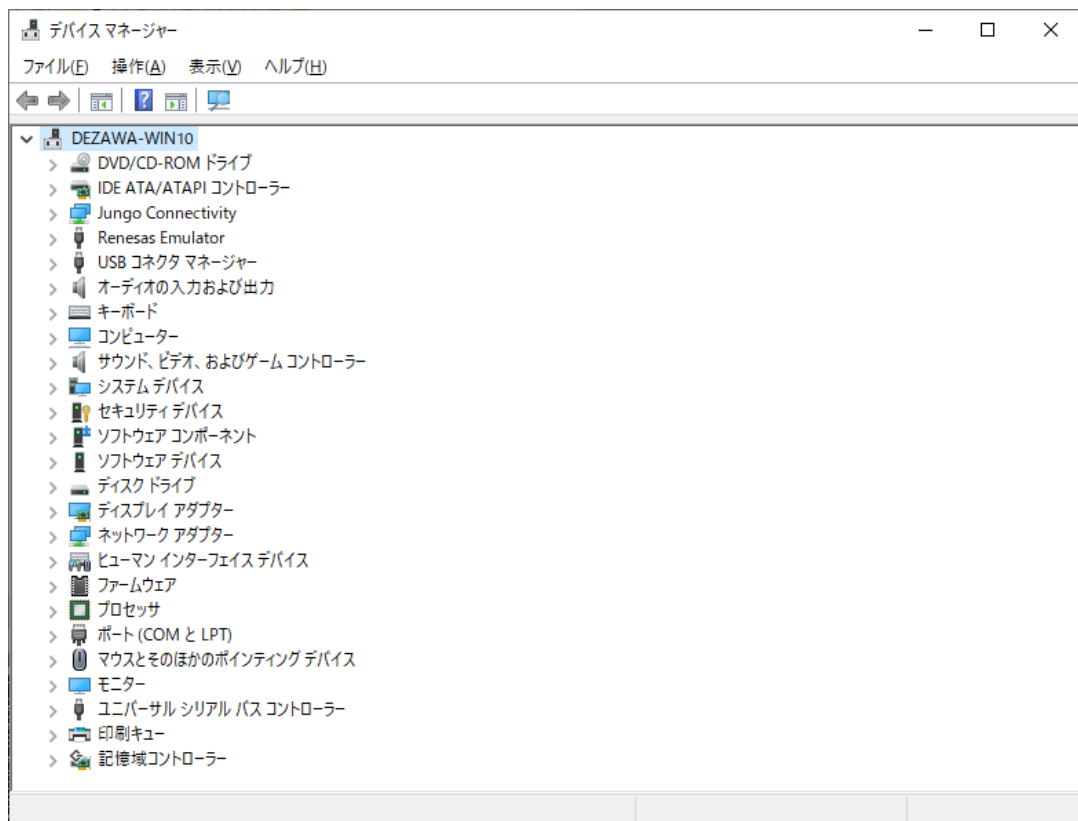
図 5.5 アップデート完了後の画面

- (6) 「警告きつつき」が再起動し、起動完了のブザーが鳴動すれば FW 更新の完了になります。
この際、ブザーがなるまで「Exit」ボタンは押下せずにそのままお待ちください。
- (7) 「Exit」ボタンを押下後、「USB Function Firmware Updater」が終了し、設定 PC アプリの画面に戻ります。
- (8) 引き続き設定を変更する場合、警告きつつきの初期起動に時間が掛かるため、COM ポートの再接続までそのままお待ちください。

5-2-2. 注意点

” USB Function Firmware Updater” の仕様上、「COM」が COM10 以降の場合、アップデート時にエラーが発生します。そのため、COM1 ～ COM9 までの範囲になるよう再設定する必要があります。以下、再設定手順になります。

- (1) 全ての「警告きつつき」の USB ケーブルを抜去します。
- (2) デスクトップ画面より左下にある Windows マークを右クリックし、「デバイス マネージャー」を起動します。



- (3) ポート(COM と LPT)の左の「>」マークを押下します。
- (4) メニューの[表示]をクリックし、[非表示のデバイスの表示]を選択します。
- (5) アイコンの色が薄い「USB シリアル デバイス」を選択し、「プロパティ」のウィンドウを開きます。
アイコンの色が薄い「USB シリアル デバイス」が複数ある場合は、(5)～(9)の操作を繰り返します。
- (6) [詳細]タブをクリックし、[プロパティ]のプルダウンリストから「デバイス インスタンス パス」を選択します。

(7) [値]の枠に表示される内容の先頭が「USB¥VID_34F6」と表示されているか確認し、
[OK]ボタンを押下します。

(8) 「USB¥VID_34F6」と表示されていたら、メニューの下の赤色の
「×」のアイコン(デバイスのアンインストール)をクリックします。

(9) 「デバイスのアンインストール」のウィンドウが開きますので、
[アンインストール]ボタンをクリックします。

(10) ポート(COM と LPR)のリストを確認し、COM3～COM9 の範囲の中から
空きがあるか確認します。

※COM3～COM9 の範囲の中に空きがない(COM3～COM9 が全て使用されている)場合は、
「警告きつつき」以外の USB デバイスを一度アンインストールする必要があります。
「警告きつつき」以外の USB デバイスをアンインストールする際は、
アンインストールする USB デバイスの説明書等を参照し、
アンインストールしても問題ないことを確認した上でアンインストールしてください。

(11) USB ケーブルで「Windows パソコン」と「警告きつつき」を接続します。

(12) 「ハードウェア変更のスキャン」を行い、新しい「USB シリアル デバイス」が
COM1～COM9 の範囲内に登録されていることを確認してください。

(13) ウィンドウ右上の「×」ボタンをクリックして、デバイスマネージャの
ウィンドウを閉じます。

5-3. データ書き込み／読み出し

警告きつつき「親機」、及び「子機」の動作設定を変更する場合、「設定」メニューより、「親機／子機 設定項目表示」を押下してください。



図 5.3 「設定」より

「親機／子機 設定項目表示」押下後、「親機設定」と「子機設定」のタブが表示されます。



図 5.4 「親機設定」「子機設定」表示後の画面

5-3-1. 親機の場合

以下では、「親機」と接続した場合の動作設定の読み出し／書き込み方法を記載します。



図 5.5 親機から動作設定を読み出した直後の【親機設定】画面

親機と接続した状態で「読み出し」ボタンを押下すると、【親機設定】画面より「接点入力設定」、「接点出力設定」、「状態確認用設定」が選択可能になります。動作設定変更後、「書き込み」ボタンを押下すると書き込み完了のメッセージが表示されます。

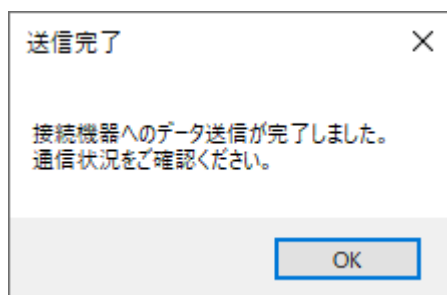


図 5.6 書き込み完了メッセージ画面

親機から動作設定を読み出した場合、【子機設定】画面では設定する項目はありません。



図 5.6 親機から動作設定を読み出した直後の【子機設定】画面

5-3-2. 子機の場合

以下では、「子機」と接続した場合の動作設定の読み出し／書き込み方法を記載します。



図 5.7 子機から 動作設定を読み出した直後の【子機設定】画面

子機と接続した状態で「読み出し」ボタンを押下すると、【子機設定】画面より「無線通信設定」、「転倒／滑落検知設定項目（衝撃）」、「転倒／滑落検知設定項目（落下）」、「転倒／滑落検知設定項目（停止）」、「転倒／滑落検知設定項目（傾き）」が選択可能になります。

【親機設定】画面で変更する項目はありません。
動作設定変更後、「書き込み」ボタンを押下すると「5-3-1. 親機の場合」と同様のメッセージが表示されます。

6. こんなときには

<症状>	<原因・対処>
通信設定の COM ポートに 「親機」の接続先 COM ポートが表示されない場合。	お使いの PC で「デバイスマネージャ」を開き、COM ポートが存在するかご確認ください。 COM ポートが存在しない場合は、変換ケーブルの接続 をご確認ください。PC によっては接続箇所を変更する ことで認識することもあります。
「読み出し」ボタンを押下しても動作 設定が読み出せない場合。	「親機」から応答が戻されていない可能性があります ので、5 秒程時間をあけてから「読み出し」ボタンを押 下してください。

(余白)

【お問い合わせ先】

ITbook テクノロジー株式会社

デジタルテクノロジー事業本部

メールアドレス 営業 : sales@itbook-tec.co.jp

技術 : support@mimawari.info

〒190-0022 東京都立川市錦町 1-8-7 立川錦町ビル 8F

TEL: 042-523-1177 FAX: 042-523-7070

URL : <https://www.mimawari.info/>